

設を運営している社会福祉法人が新たに開設するものであり、評判も高く、問題ないと考えている。

いずれも市の設備及び運営の基準を満たし、認可保育所と同等の施設として認可する。保育の内容も認可保育所と同等と考えている。

Q 本市の年度当初の待機児童はゼロであるが、今後の予想と方向性は。

A 子どもの人数は減少しているが、保育所への入所希望は増加している。積極的に待機児童対策を進めており、3、4、5歳児分の保育枠は、一定数が確保されている。低年齢児の保育枠については、小規模保育施設や幼稚園の認定こども園化により確保していきたい。

病児保育事業

Q 事業の概要は。

A こども支援課主席主幹 病気が困難で、かつ、家庭での保育ができないときに、医療機関が設置する専用の施設で一時的に保育を行うものである。国及び県から3分の1ずつの補助を受け、坂戸鶴ヶ島医師会の推薦による市内の医療機関に対する補助事業として実施する。対象は、本市及び坂戸市在住の生後6か月から小学生までの児童である。利用は、月曜日か

ら金曜日までの朝8時から夜6時まで、定員は10人の予定である。

起業・創業支援事業

Q チャレンジショップの内容と期待する事業の効果は。

A 産業振興課長 市内で出店を希望する方に空き店舗を貸し出し、起業に向けたトレーニングを積むものである。出店者には、経営ノウハウの実体験による習得、起業後の顧客の確保等のメリットがある。また、商店街や地域の活性化も期待できる。

防災訓練等実施事業

Q 九都県市合同防災訓練の参加者見込数と市民への周知は。

A 安心安全推進課長 埼玉県、坂戸・鶴ヶ島消防組合、警察自衛隊、自治会等の約110団体のほか、それに伴う関係者や一般の方が8000人から1万人来場する予定である。今年に入り自治会長に話をしたところであり、市民には、訓練内容が明確になった段階で、広報やホームページにより周知をしたい。

小学校トイレ改修事業(工事) 小学校空調設備改修事業(設計)

Q 改修のスケジュールは。

A 教育総務課長 29年度は、鶴ヶ島第一小学校、杉下小学校、長久保小学校及び南小学校のトイ

レの洋式化を夏休みを中心に行い、次年度に残りの小学校を進めたい。また、鶴ヶ島第一小学校の空調設備は、29年度に設計を行い、30年度には工事を行いたいと考えている。

特別会計予算 () は、前年度予算額

国民健康保険	89億1027万円 (87億3324万円)	一本松土地区画 整理事業	4億8205万円 (3億8385万円)
後期高齢者医療	6億2998万円 (5億9087万円)	若葉駅西口土地 区画整理事業	3億6905万円 (3億4614万円)
介護保険	42億9387万円 (37億5530万円)		

国民健康保険

Q 国民健康保険税が予算減となっている理由は。

A 保険年金課長 退職者医療制度の廃止により、現在の退職被保険者は65歳になると一般の被保険者になるため、毎年減っていく。また、国民健康保険全体の被保険者数が減少傾向にある中、本市の場合は65歳から後期高齢者医療に移行するまでの前期高齢者の伸びが大きく、所得も低いいため、減少しているものである。

Q 被保険者の人数減の予測は。

A 保険年金課長 29年度は、一般被保険者が729人、退職被保険者が235人の減で、全体で964人の減を見込んでいる。

Q がん検診の自己負担額の助成を廃止した理由は。

A 保険年金課長 西部11市では助成を実施している市がほかになく、県内でも本市を含めた5市しかないこと、今後の広域化や保険税の増高を考慮したことによる。

後期高齢者医療

Q 保険料の増額の要因は。

A 保険年金課長 保険料率の改定はなく、被保険者の増による影響である。

介護保険

Q 地域包括支援センターの増設の予定は。

A 高齢者福祉課長 第7期介護保険事業計画策定の段階で日常生活圏域を見直し、増設を考えた。

一本松土地区画整理事業

建物等の移転に要する経費、道路等の整備に要する経費を中心に計上され、前年度比9820万1000円、25・6割の増となります。

若葉駅西口土地区画整理事業

建物等の移転に要する経費、道路等の整備に要する経費を中心に計上され、前年度比2290万8000円、6・6割の増となります。



若葉駅西口周辺